

アピール

今、健康長寿社会の実現にむけて、歯科医療の重要性が増していることは、厚生労働省をはじめ様々な調査でも明らかになってきています。

しかし、国による長年にわたる低歯科医療費政策は、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士などの働く環境に大きな障害となっています。加えて歯科では、高い窓口負担や保険のきかない治療があるため、国民、患者が歯科医療を受けることを妨げる要因にもなっています。

さらに、安倍政権による社会保障費削減方針により、新たな患者負担増、診療報酬、介護報酬の抑制などが計画されています。

私たちは、いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず、安心して保険で良い歯科医療が受けられるよう、多くの患者・国民、医療従事者と力を合わせ、運動を広げることを決意して下記の内容を要求します。

1. 安心して保険で良い歯科医療が受けられるよう、窓口負担を大幅に軽減すること
2. 保険のきく歯科治療の範囲を拡大すること
3. 歯科衛生士と歯科技工士の技術と労働を適正に評価し、待遇改善をおこなうこと
4. 国が責任をもって、あらゆる世代の歯科健診を充実させること
5. 歯科医療費の総枠を拡大すること

2017年9月28日

「『保険で良い歯科医療の実現を求める』9・28市民集会」参加者一同